



羅 臼 町

平成27年度（平成26年度対象）

羅臼町教育行政の点検・評価

報 告 書

羅臼町教育委員会

目 次

第1章	はじめに	2
1	目 的	
2	評価の方法学識経験者の知見の活用	
3	羅臼町教育行政評価委員	
第2章	羅臼町教育委員会の活動状況	3～7
1	平成26年度教育委員会の開催	
2	教育委員の活動状況	
3	条例・規則等の制定、計画等の策定状況	
第3章	平成26年度の取り組みの概要	8～18
1	幼稚園・学校教育の取り組み	
2	幼稚園・学校教育に関わるその他の取り組み	
3	社会教育の取り組み	
第4章	外部評価委員の意見	19～21

第1章 はじめに

1 目的

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、学識経験者の意見を付して議会に提出し公表することを目的としています。

2 評価の方法

平成26年度に教育委員会が取り組んだ学校教育及び社会教育に関する主要な施策について、現状や背景を踏まえ内部評価を行ったうえで、実績を明らかにした結果を次の通りまとめたものです。

- A：達成状況のじゅうぶんなもの（効果が現れているもの）
- B：ほぼ達成しているもの（一部効果が現れているもの）
- C：進行中（進行はしているが効果が見られないもの）
- D：計画はしたが未着手のもの

3 羅臼町教育行政評価委員

羅臼町教育行政点検・評価にあたっては、各委員により幼稚園、小中学校の現状について各園・各学校の授業参観や管理職の説明を受け状況を把握するほか、教育行政が行った主要な各事業については、各事業の点検評価内容を直接担当課より説明を行うなどしながら、次の4名の各委員から具体的な意見などをいただいた。

氏名	住所	職業	備考
芦崎輝雄	羅臼町八木浜町24	会社役員	元羅臼町教育委員長
二宮信一	釧路市城山1-15-55	教育大学釧路校准教授	教育学・特別支援教育
境智洋	釧路市城山1-15-55	教育大学釧路校准教授	地域学校教育
佐々木泰幹	羅臼町幌萌町623-42	知床山岳ガイド	知床山海塾塾長

尚、委員の任期は平成26年4月1日から平成28年3月31日までとなっています。

第2章 羅臼町教育委員会の活動状況

1 平成26年度教育委員会の開催

羅臼町教育委員会は、毎月1回の定例会と、必要に応じて臨時会や教育懇談会などを開催し、教育課題に対する協議を行いました。

会議の開催状況は次の通りです。

開 催 日	付 議 案 件
平成26年4月14日 第4回定例会	<p>【報告事項】 第4号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】 特になし</p> <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成26年度羅臼町人事について 2 平成26年度教職員名簿について
平成26年5月28日 第5回定例会	<p>【報告事項】 第5号 諸会議・諸事業について 第6号 平成25年度教育費予算補正（専決処分）について</p> <p>【協議事項】 議案第11号 平成26年度教育費予算補正について 議案第12号 財産の取得について 議案第13号 平成26年度準要保護児童・生徒の認定（追加）について</p> <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各種会議・研修会について 2 教育委員の学校・幼稚園訪問について 3 平成25年度の学校給食に係わる食材提供していただいた実績（報告） 4 町立中学校建設に係わる今年度の予定について
平成26年6月27日 第6回定例会	<p>【報告事項】 第7号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】 議案第14号 平成26年度準要保護児童・生徒の認定（追加）について 議案第15号 「羅臼町立学校管理規則」の一部を改正する規則の制定について</p> <p>議案第16号 「羅臼町就学援助規則」の全部改正について</p> <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育委員の学校・幼稚園訪問について 2 全道市町村教育委員研修会について 3 少年の主張根室地区大会発表者について 4 後任のALTについて
平成26年7月25日 第7回定例会	<p>【報告事項】 第8号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】 議案第17号 平成26年度教育費予算補正について</p> <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 給食センター調理員・代替登録員の募集について 2 ALT（WYATT）の帰国について

<p>平成 26 年 8 月 26 日 第 8 回定例会</p>	<p>【報告事項】 第 9 号 諸会議・諸事業について 第 10 号 平成 27 年度から使用する小学校教科用図書の採択について 第 11 号 平成 27 年度使用小学部及び中学部を置く道立特別支援学校用教科用図書の採択について 第 12 号「羅臼町立幼稚園預かり保育時間延長に関する規程」の制定について 【協議事項】 議案第 18 号 平成 26 年度教育費予算補正について 【その他】 1 平成 26 年度（平成 25 年度対象）教育行政の点検・評価報告書について 2 中学校建設に係わる状況について（報告）</p>
<p>平成 26 年 9 月 25 日 第 9 回定例会</p>	<p>【報告事項】 第 13 号 諸会議・諸事業について 【協議事項】 選挙第 1 号 羅臼町教育委員会委員長の選挙について 議案第 19 号 羅臼町教育委員会委員長職務代理者の指定について 【その他】 1 羅臼小学校の体育館屋根改修工事終了と来年度以降の改修予定 2 新中学校の校名応募状況について</p>
<p>平成 26 年 10 月 22 日 第 10 回定例会</p>	<p>【報告事項】 第 14 号 諸会議・諸事業について 【協議事項】 議案第 20 号 平成 26 年度準要保護児童・生徒の認定（追加）について 【その他】 1 平成 25 年度羅臼町教育行政の点検・評価 内部評価調書について 2 校長等との教育懇談会について 3 教育関係者合同忘年会について</p>
<p>平成 26 年 11 月 18 日 第 11 回定例会</p>	<p>（報告事項） 第 15 号 諸会議・諸事業について 【協議事項】 議案第 21 号 平成 26 年度教育費予算補正について 【その他】 1 教育委員と校長との教育懇談会について （合同忘年会は、池田教育長急逝につき今年度中止）</p>
<p>平成 26 年 12 月 12 日 第 12 回定例会</p>	<p>【報告事項】 第 16 号 諸会議・諸事業について 【協議事項】 議案第 22 号 平成 26 年度準要保護児童・生徒の認定について 【その他】 1 春松中学校の公開授業について 2 仕事納め・仕事始めの挨拶について</p>
<p>平成 26 年 12 月 12 日 第 1 回教育懇談会</p>	<p>羅臼町校長会との教育懇談会 「小・中における学びの接続、連続を目指して」（校長会の要望）</p>
<p>平成 26 年 12 月 24 日 第 1 回臨時教育委員会</p>	<p>【協議事項】 1 教育長の任命について</p>

<p>平成 27 年 1 月 20 日 第 1 回定例会</p>	<p>【報告事項】 第 1 号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】 議案第 1 号 羅臼町学校管理規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 2 号 平成 26 年度教育費予算補正について 議案第 3 号 平成 26 年度児童生徒表彰について</p> <p>【その他】 1 平成 26 年度（第 6 回）知床学士認定試験の結果について 2 中学校卒業予定者の進路希望状況について 3 平成 26 年度卒業（園）式・平成 27 年度入学（園）式の日程について</p>
<p>平成 27 年 2 月 20 日 第 2 回定例会</p>	<p>【報告事項】 第 2 号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】 議案第 4 号 平成 26 年度教育費予算補正について 議案第 5 号 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例」の制定について 議案第 6 号 「羅臼町教育長の勤務時間、休日、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例」の制定について 議案第 7 号 平成 27 年度教育費の予算編成について</p> <p>【その他】 1 羅臼高校卒業予定者の進路状況について 2 放課後児童クラブ（学童保育所）の運営について 3 羅臼町教育関係者合同送別会について 4 平成 27 年度教職員辞令交付式について</p>
<p>平成 27 年 3 月 20 日 第 3 回定例会</p>	<p>【報告事項】 第 3 号 諸会議・諸事業について</p> <p>【協議事項】 議案第 8 号 平成 27 年度準要保護児童生徒の認定について 議案第 9 号 「羅臼町教育委員会の事務局及び所管機関に関する規則」の一部を改正する規則の制定について 議案第 10 号 「羅臼町教育委員会公告式規則」の一部を改正する規則の制定について 議案第 11 号 「羅臼町教育委員会会議規則」の一部を改正する規則の制定について 議案第 12 号 「羅臼町教育委員会傍聴人規則」の一部を改正する規則の制定について 議案第 13 号 「羅臼町教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則」の一部を改正する規則の制定について 議案第 14 号 「羅臼町教育委員会事務局等の職名に関する規則」の一部を改正する規則の制定について 議案第 15 号 「羅臼町教育委員会事務局処務規程」の一部を改正する規程の制定について 議案第 16 号 「羅臼町教育委員会公印規程」の一部を改正する規程の制定について 議案第 17 号 「羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する規程」の一部を改正する規程の制定について</p> <p>【その他】 1 中学校卒業者の進路状況について 2 平成 27 年度新規採用教員及び転入教職員辞令交付式について 3 平成 27 年度羅臼町教育関係者合同歓迎会について 4 放課後児童クラブの申し込み状況について</p>

i 開催回数：定例会…12回 / 臨時会…1回 / 懇談会…1回

ii 審議事項：議決案件29件 / 報告案件16件 / 協議案件12件 / その他…15件

2 教育委員の研修及び活動の状況

①研修会に関する事項

- i 根室管内教育委員会連合会研修会（標津町あすばる）
- ii 北海道市町村教育委員連合会研修会（札幌市）
- iii 教育委員研修会北海道立教育研究所企画研修部との懇談会
- iv 教育委員研修会「コーディネーショントレーニング研修会」
- v 教育委員研修会「羅臼町小・中における学びの接続、連続を目指して（校長会の提言）及び教育懇談会」
- vi 標津町・羅臼町合同研修会
- vii 中高一貫合同講演会

②学校行事に関する事項

- i 羅臼幼稚園、春松幼稚園の卒園式・入園式・運動会・発表会・公開授業研
- ii 羅臼小学校、春松小学校卒業式・入学式・運動会・学芸会・公開授業研・学習指導法研究大会
- iii 羅臼中学校、春松中学校卒業式・入学式・体育大会・文化祭・公開授業研
- iv 羅臼高等学校入学式・卒業式・学校祭・中高一貫教育
- v 中標津高等養護学校入学式・卒業式
- vi 釧路養護学校小中学部卒業式・学習発表会

③社会教育・公民館・郷土資料館に関する事項

- i 羅臼町成人式 ii 羅臼町文化祭 iii 文化協会総会 iv 文化財保護調査委員会
- v 高校生の水産教室 vi
- vii 優良公民館全国表彰受賞式出席（文科省）

④体育行事に関する事項

- i 国後眺望駅伝大会 ii 総合型地域スポーツクラブ「らいず」総会

⑤その他

- i 知床ユネスコ協会総会出席 ii 教育委員の幼稚園・学校訪問（7/16）
- iii 第70回日本ユネスコ大会 in 知床参加 iv 羅臼町敬老会 v 通学バス懇談会

3 条例・規則等の制定、計画等の策定状況

議案番号	条例・規則等の制定、計画等名	担当課
第15号	「羅臼町立学校管理規則」の一部を改正する規則の制定について	学務課
第16号	「羅臼町就学援助規則」の全部改正について	学務課
第1号	羅臼町学校管理規則の一部を改正する規則の制定について羅臼町の職員で非常勤職員のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正する条例制定について	学務課
第5号	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例」の制定について	学務課
第6号	「羅臼町教育長の勤務時間、休日、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例」の制定について	学務課
第9号	「羅臼町教育委員会の事務局及び所管機関に関する規則」の一部を改正する規則の制定について	学務課
第10号	「羅臼町教育委員会公告式規則」の一部を改正する規則の制定について	学務課
第11号	「羅臼町教育委員会会議規則」の一部を改正する規則の制定について	学務課
第12号	「羅臼町教育委員会傍聴人規則」の一部を改正する規則の制定について	学務課
第13号	「羅臼町教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則」の一部を改正する規則の制定について	学務課
第14号	「羅臼町教育委員会事務局等の職名に関する規則」の一部を改正する規則の制定について	学務課
第15号	「羅臼町教育委員会事務局処務規程」の一部を改正する規程の制定について	学務課
第16号	「羅臼町教育委員会公印規程」の一部を改正する規程の制定について	学務課
第17号	「羅臼町教育事務執行状況の点検及び評価等に関する規程」の一部を改正する規程の制定について	学務課

第3章 平成26年度の取り組みの概要

1. 幼稚園・学校教育の取り組み

(1) 人間形成の基礎を培う幼稚園教育

取組みの概要	<p>幼稚園教育は、幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成するため発達や学びの連続性を考慮した取り組みを通じて、生涯にわたる人格形成の基礎培う重要な役割を担っています。</p> <p>そのため、幼稚園教育要領に基づき、体系的・系統的な取り組みを継続的に行い、健康で人間性豊かな子どもの育成に努めます。</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進み、同年齢による遊ぶ機会の減少や集団の中で多様な経験を積むことが少なくなっている。 ・核家族が定着する中で、子育てに対する過保護や過干渉、更には育児への不安を抱く若い保護者の増加がある。 ・家庭や地域と協力・連携をしながら、課題解決を目指す取り組みの推進をする。 	内部評価
推進項目	①家庭教育学級など保護者への研修を開催する。	B
	②ユネスコスクール活動を通じての自然体験活動の推進。	A
	③小学校との「接続のカリキュラム」の充実。	A
	④園児の虫歯予防対策の継続推進。	A
	⑤教員の資質の向上を図る研修や支援教育に係る研修への参加。	A

(2) 確かな学力を育む学習指導

取組みの概要	<p>変化が激しい時代にあって、子ども達の将来の夢や希望の実現を図り、たくましく生き抜いていく能力や態度の育成は、学校の教育活動全体を通して育むことが求められています。</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決型授業への教職員の取り組みの推進 ・授業力向上に向けた学校の組織的な取り組みへの支援 ・フリープラン研修や放課後学習、学生ボランティア事業の受入れなど、各学校の積極的な姿勢 ・教職員の職能向上に向けた取り組みをはじめ学校の学力向上を目指す組織的な研修活動の推進 ・大学や研究機関が行う教育研究活動と連携し、地域の実態に即した方策の確立 	内部評価
推進項目	①授業力向上のための道立教育研究所と連携して行う「フリープラン研修」への積極的な参加	A
	②教師力向上のための研修会開催と積極的参加	A
	③「全国標準学力検査」の分析を行い、児童生徒の基礎学力の定着を図る取り組み	B
	④NRTの実施と学力定着度を分析し自校の課題を明確にする	B
	⑤北海道教育大学釧路校や羅臼高等学校との連携事業に協力と支援	A
	・理科支援員及び数学支援員の配置事業受け入れ	
	・高校生ボランティア活動の受け入れ ・学生のアフタースクール事業などの学校教育活動へ	
	⑥校種間の接続の推進（幼小中一貫教育を受けて）	B
	⑦ユネスコスクール活動の推進	A

(3) 信頼される学校教育

取組みの概要	<p>学校は、保護者や地域住民の意見や要望を的確に把握し、組織的・継続的に運営の改善を図り、家庭や地域の理解を深めることが期待されています。又、子ども達の安全・安心な教育環境整備に向けた新中学校校舎建設の取り組みを推進致します。</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の校内における相談体制の充実に努め、関係機関との連携、協力体制のもと、実効性のある課題解決を目指す ・教職員は、子ども達や保護者などから疑惑や不信を招くことがないよう服務規律をはじめ各種の法令を順守し、教育に対する信頼に応える 	内部評価
	<p>①学校評価を反映した学校づくりや各種調査結果など、迅速な公表を通じて説明責任を果たす取り組みをする。</p> <p>②年に2回のQ-U実施と生徒指導や学級づくりへ早期に対応する。</p> <p>③防災教育、いじめ防止活動など児童生徒の安全、安心な学校づくりの推進</p> <p>④実効性のある生徒指導の実現（計画的な特別活動の実施）</p> <p>⑤保護者の学校教育活動への積極的な参画を奨励し、開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>⑥教職員の各種法令順守の徹底を図る。</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>

(4) 豊かな心や健やかな体を育む教育

取組みの概要	<p>子ども達の豊かな心や健やかな体を育むために、家庭や地域社会と連携をしながら、発達段階に応じた各分野のさまざまな体験活動が求められています。また、学校給食センターが使用している器材は、老朽化したものを入れ替える。</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会環境の変化や生活様式の多様化等に伴い、「生きる力」の基礎となるさまざまな体験活動の充実や世代間交流の不足 ・子ども達の肥満の割合が全道・全国平均を上回っており、適切なスポーツ活動や運動に親しみ、基礎体力を高める取り組みの推進 ・食育や学校体育社会体育などを通じた機会の提供をはじめ医療や保健機関とも連携をしながら指導体制の充実 	内部評価
	<p>①社会教育活動と連携した自然体験活動や各種のボランティア活動を通じて、さまざまな体験を推進するボランティア活動や自然体験学習・職場体験学習などを推進する。</p> <p>②子ども達の肥満対応策について、医療や保健機関とも連携し、食育の推進や「こんぱす」の活用を図るなど、保護者と連携した指導体制の充実に努める</p> <p>③体力・運動能力の向上を図るため、幼稚園と小学校にコーディネーショントレーニングの導入と実践</p> <p>④学校の道徳教育を効果的に推進するため、必要に応じた校内研修会の開催</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>B</p>

(5) 羅臼町支援教育の推進

取組みの概要	<p>発達障がいや生徒指導などを含めて、子どもの課題や支援内容などについて整理し、正しく伝えることや多くの情報を短時間で伝えるため個別の支援計画書「こんぱす」は有効に活用されています。子どもとその保護者、学校などと連携を強め、包括的な支援教育の確立を目指してまいります。</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個に応じた支援体制が充実するよう、個別の支援計画書「こんぱす」を所有する保護者の形態別に支援体制を構築し、一貫した支援体制の確立 現在の「こんぱす」保持者を目的別に分類をしながら、必要な支援策の検討と、将来、子ども達の社会参加と自立を目指す方策 	内部評価
	推進項目	<p>①個別の支援計画書「こんぱす」の活用と支援体制の充実</p> <p>②発達支援センター、保健師との連携（「こんぱす」と歯・食育・肥満・不登校などを含め）</p> <p>③保護者説明会や担当教員の研修会を開催し、専門性の向上を図る。</p> <p>④特別支援教諭2種免許研修会への参加と無免許の解消。</p>

(6) 自然環境教育の推進

取組みの概要	<p>郷土の歴史や自然への興味や関心を深め体験を重ねることは、子ども達の豊かな心情や思考力の芽生えを培い創造性を豊かにすることから、教育的なねらいを明確にしながら、体系的・系統的に取り組むことが重要です。そのため、関係機関と連携しユネスコスクール活動の充実・発展を図る。</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携をしながら世界自然遺産知床の優れた自然環境を活用したユネスコスクール活動の充実・発展 知床半島の動植物の多様性をはじめ生物間のつながりや北方領土などについて、総合的に学ぶことが出来る本町独自の副読本の必要性（副読本「知床学」の作成中） 体験的に学び自然に対する豊かな感性や思考力の芽生えを育む方策 E S Dの考え方や教職員の専門的な知識のための研修機会の提供 世界自然遺産知床を次世代に継承していく活動の必要性 	内部評価
	推進項目	<p>①幼小中高によるユネスコスクール研究発表会への参加（生活科・総合的な学習の充実）</p> <p>②E S Dの考え方や教職員の専門的な知識のための研修機会の提供と研修会への参加</p> <p>③第70回日本ユネスコ運動全国大会への協力と参加</p>

(7) 中学校の適正配置計画について

取組みの概要	<p>春松中学校と羅臼中学校、両校の廃校と新設の中学校を現羅臼中学校敷地内に建設をすることで合意が得られた。今後、両校の閉校並びに新設校開設に向けた諸準備を同時に進めていくことで、地域やPTAをはじめ校長会・教頭会などを含め検討委員会を設置し、多岐にわたる具体的な内容について作業を進めていく。</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 校舎基本設計の実施 新設中学校の校名 	内部評価
	推進項目	<p>①校舎基本設計の実施と新設中学校の校名の決定</p>

2. 学校教育に関わるその他の取り組み

(1) 主な調査

調査月日	調査名	担当課
平成26年 4月15日	小学校NRT実施	学務課
平成26年 4月15日	中学校NRT実施	学務課
平成26年 4月17日	春松中学校第1回Q-U（学級満足度調査）	学務課
平成26年 4月24日	春松小学校第1回Q-U（ // ）	学務課
平成26年 5月13日	羅臼小学校第1回Q-U（ // ）	学務課
平成26年 5月16日	羅臼中学校第1回Q-U（ // ）	学務課
平成26年11月 8日	羅臼小学校第2回Q-U（ // ）	学務課
平成26年11月11日	春松中学校第2回Q-U（ // ）	学務課
平成26年12月 2日	春松小学校第2回Q-U（ // ）	学務課
平成26年 2月 8日	羅臼中学校第2回Q-U（ // ）	学務課

※NRT(相対評価法による標準学力検査)は、全国基準に照らして客観的に学力を把握します。

※Q-U（学級満足度調査）は、学級集団をアセスメントする調査で、学級の満足度・学校生活意欲・ソーシャルスキル尺度を調べ、教師のより適切な支援のツールです。いじめや不登校を未然に防ぐのに役立ちます。

(2) いじめ・不登校への取り組み

平成26年度は春松中学校において、中学生の校内によるいじめ・暴力が1件発生したが、加害者、被害者の保護者を交え、学校全体の取り組みを行った。なお、平成26年度末における不登校及び不登校傾向は、小学校1件、中学校3件となっている。

(3) 教育委員会が行った主な教職員の研修等

研修会名	開催月日等	講師等
羅臼町 第2回校長研修会	平成26年5月7日 「根室管内教育推進の重点について」	講師：根室教育局 教育支援課長 塩田 直之 氏
羅臼町 第3回校長研修会	平成26年6月11日 「学力向上を目指す学校の取り組みについて」	講師：教育大学釧路校 准教授 二宮 信一 氏
幼稚園・小学校教諭 COT 研修会	平成26年6月19日	講師：NPO 法人 JACOT 菅野 美津枝 氏 菅野 映 氏
羅臼町 第4回校長研修会	平成26年7月8日 「家庭習慣の実態と改善の方策」	講師：根室教育局 社会教育指導班主査 熱海 桂子 氏
羅臼町幼小中高一貫教育 合同研修会&道研 連携セミナー	平成26年7月25日（午後開催：83名）	講師：北海道立教育研究所 企画研修部 鈴木 淳 部長ほか
北海道立教育研究所 羅臼町 夏季フリープラン研修	平成26年7月24日～26日 24日（午前18名・午後20名） 25日（午前6名）・午後連携セミナー 26日（午前16名） 計60名	講師：北海道立教育研究所 企画研修部 鈴木 淳 部長 板谷文美子 主事 大井結厘子 主事
羅臼町道研校長研修	平成26年7月30日～31日 「学校経営研修ほか」	講師：北海道立教育研究所 企画研修部 鈴木淳部長ほか

羅臼町道研教頭研修	平成26年8月7日～8日 「学校経営研修ほか」	講師：北海道立教育研究所 企画研修部 西川主幹ほか
羅臼町 第6回校長研修会	平成26年9月9日 「服務規律と危機管理について」	講師：根室教育局 教育支援課長 塩田直之氏
第1回標津・羅臼 合同研修会	平成26年10月9日（標津町会場） 「標津町の防災管理・教員の資質能力向上」	講師：標津町役場住民生活課 防災係長 和田直人氏 根室教育局教育支援 課長 塩田直之氏
羅臼町 第8回校長研修会	平成26年12月9日 「学力向上を目指す学校の取り組みについて」	講師：根室教育局 教育支援課長 塩田直之氏
北海道立教育研究所 羅臼町 冬季フリープラン研修 （会場：羅臼小）	平成27年1月8日～9日 8日（午前18名・午後21名） 9日（午前16名・午後16名）計71名	講師：北海道立教育研究所 企画研修部 西川 忠克 主幹 板谷文美子 主事 赤塚 恒太 主事
第2回標津・羅臼 合同研修会	平成27年2月4日（羅臼町：吹雪のため中止） 「基礎学力の定着のための工夫改善」	講師：教育大学釧路校 准教授 境 智尋氏
教員のための 理科実験実験セットの 活用実習研修	平成27年2月4日（吹雪のため中止）	講師：教育大学釧路校 准教授 境 智尋氏

（4）各種学校・学級支援

事業名	開催月日	講師等
小学校学習支援事業	平成26年9月22日～29日・春松小学校 平成26年11月10日～14日・羅臼小学校	講師：教育大学釧路校 教育学部学生
アフタースクール事業	平成26年9月26日～28日・春松小学校 平成26年11月7日～9日・羅臼小学校	
理科支援員配置事業	平成26年11月10日～14日 春松小学校 平成26年12月1日～5日 羅臼小学校	講師：教育大学釧路校 教育学部大学院生
高校生ボランティア支援	平成26年12月26日 羅臼小学校・春松小学校のウインタースクール支援	講師：羅臼高校生
防災教室の開催	平成26年12月4日 羅臼小学校6年生 平成26年12月5日 春松小学校6年生	講師：気象庁釧路地方気象台 谷内和弘氏 教育大学釧路校 教育学部学生

3. 社会教育の取り組み

取り組みの概要	羅臼町第6次社会教育中期計画で定めた平成26年度の各種事業について、生涯学習の観点から次の通り実施し、当町の地域に根差した社会教育を振興した。	
事業名	取り組みの概要	内部評価
諸会議 目標：生涯学習の観点から、当町の社会教育振興策を探り、地域に根ざした推進方策を考える。	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員の会議 文化財保護調査委員 天然記念物指定鳥類保護監視員 公民館利用者懇談会 会議開催しているが、地域課題の現状把握等の作業及び自主的な取り組みに至っておらず、例年同様の活動内容であった。 	C
社会教育計画及び各種調査研究 目標：地域の実情に即した社会教育計画の策定を行う。そのために各種調査及び資料収集活動を行い、計画の遂行及び事業展開のための基礎資料とする。	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業アンケート調査を行い、新年度事業の材料としている。 事業反省評価を行い、次年度の予算に反映している。 6次中期計画終了 事業量、事務量に対し、職員数の不足。 	A
学校開放事業 目標：住民の生涯学習活動を推進するため、学校施設を開放し、学習の場として提供するための条件整備を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 運営自主管理の運営委員会としては、一定の機能を果たしている。 各団体の活動拠点として有効に利用されている。 	A
(青少年教育)		
第32回ふるさと少年探検隊 目標：ふるさとの自然に親しみ、豊かな心を養い、子どもたちの郷土愛、忍耐力、協調心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 地域スタッフとの連携・協力が図られている。 写真展の充実 地域に事業が定着している スタッフミーティングを重ねることにより、子どもの指導に対して共通意識をもって対応できている。 軸となる子ども会指導員の高齢化、スタッフの確保 	A
高校生の水産教育 目標：漁業後継者を目指す高校3年生を対象に、漁業に関する基礎的、基本的な考え方や、知識・技術を学ぶ機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 開級式、記念講演 ロープワーク、ダイビング実習、郷土料理ほか24回の事業開催 閉級式、記念講演 ※目標は達成している。	A
成人式 目標：成人となったことを祝い、社会人としての有意義な人生を歩むよう誓い、励ます機会とする。	<ul style="list-style-type: none"> 記念公演「新春寄席」春風亭柳太郎氏 目標は達成しているが対象者に関わりを持たせる仕掛けづくりが定着していない。 	B
(成人教育)		
家庭教育学級 目標：家庭教育どうあればよいのか、親のあり方、発達課題、子育ての悩み等、気軽に考えあえる場をつくり、よりよい家庭づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 「親力つむぎ事業」のモデル事業として、家庭教育の啓発普及のためのパンフレット・ポスターの掲示や講演会を実施した。 就学児検査時の待ち時間を利用した家庭教育学級の実施 家庭教育学級「手軽に手作りみそ作り教室」の開催 今後の事業効果と成果が期待される 	C
(芸術文化)		
芸術文化活動振興奨励事業 目標：町民の自発的、創造的な芸術・文化活動の促進を図るため、町民を対象とした芸術・文化的な事業を行う団体に対して助成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○有志による団体に対し、助成を行った。 音楽ワークショップ～未来に繋がる音楽の課外授業～ 演奏者：佐藤 裕一 氏 共演：羅臼ジュニアハーモニーほか 認知度は高まっているが、例年同じ団体からの申請しかない。 	B

少年芸術劇場 目標： 町内の児童・生徒に優れた芸術文化の鑑賞機会を提供し、豊かな情操の涵養に資する。	<ul style="list-style-type: none"> 今年も演劇は小・中・高生ともに一体となって鑑賞していた。 内容：オズの魔法使い 対象年齢に差があり、作品選定に苦慮している。 	A
(団体育成・指導者育成)		
子育て支援関連事業 目標： 子育てに関する事業を展開する関係機関と連携をとりながら、子育て情報の提供を行い、サークル活動を支援していく。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援ネットワーク会議（保健福祉課事業に年2回委員として参画している） 図書室では、ブックスタート等子育てサークルが活発。 子育て支援法による政策と担当部局の棲み分けに課題あり。 	D
郷土芸能振興事業 目標： 郷土芸能「知床いぶき樽」を学習素材として後世に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> 自主的な活動している。 	B
社会教育関係団体等の支援 目標： 団体をリードする指導者の発掘、要請を推進し、自主自立を目指した継続的な支援・育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 各団体ともに、自主的に活動がなされているが、各団体の今日的課題、例えば会員の高齢化や団体への意識低下、地域課題に対する認識の温度差などに起因する活動の停滞、衰退がある。 	B
リーダー養成事業 目標： ボランティア活動や教育委員会各種事業を通じて、組織的学習活動の助長を図り、リーダーを養成する。	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育、公民館事業と連動してのリーダー養成 漁協青年部、商工青年部、役場青年部との企画実施 高校生チャレンジグルメコンテスト出場 ハイスクールフェア in 羅臼参加 羅臼町活性化ワーキンググループ（昆布フェスタの開催） 	B
ジュニアリーダー研修派遣事業 目標： ジュニアリーダー研修に派遣し、資質の向上を図るとともに、団体生活の活性化に資する。	<ul style="list-style-type: none"> 例年、各中学校の協力を得て数名を派遣し、定着している。 参加費は、中高一貫教育協議会から支出。個人負担はない。 	A
創作料理プロジェクト 目標： 知床羅臼の風土や食・自然の素晴らしさについて再発見することと、課題や問題点に対し共に学び合い助け合う集団行動を体験的に学び取ることをねらいとし「ふるさと学習」につながる取り組みとする。	<ul style="list-style-type: none"> 札幌で開催する「北海道高校生チャレンジグルメコンテスト」に出場し、2年連続「北海道知事賞」を受賞する。 完成したレシピの活用方法に課題 	A
(文化財)		
埋蔵文化財保護事業 目標： 遺跡の保護・保存を図ると共に、事前協議の必要なものに関しては調査を実施する。発掘調査が必要なものは発掘を実施し、記録として保存する。	<ul style="list-style-type: none"> 麻布町タツカリウス川南岸遺跡の草刈り作業 松法川北岸遺跡出土品の現況調査と文化財指定 峯浜チャシ遊歩道の作製 埋蔵文化財包蔵地の周知徹底と文化財に対する関心が低いこと。 	B
国指定文化財保護事業 目標： 国指定天然記念物の保護と生態、生育環境の調査、一斉調査を行う。	<ul style="list-style-type: none"> オジロワシ長期モニタリング調査協力 町内オジロ・オオワシ一斉調査 親と子のオジロ・オオワシ観察会 通常監視によるデータが集積されているが、データの調査分析が十分に行われていない。 	B
北海道指定天然記念物保護事業 目標： 道指定天然記念物の保護・管理に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 隧道工事が行われたマッカウス洞窟の環境変化監視。 間欠泉噴湯調査（8/14 48分噴湯間隔） 「羅臼のひかりごけ」コロニーの減少原因解明と保護方法の検討 	B
郷土資料館整備事業／管理事業 目標： 自然や歴史的な文化財を多く残す羅臼町において、その一部に身近に接し郷土への認識を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 学校事業での活用等、施設の有効活用 観光資源としての活用方法の検討が未着手 展示資料の作成 年齢に即した体験学習の取り入れ 	C

<p>郷土資料館講座 目標：郷土の歴史や文化に親しむ講座を開催し、その理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「遺跡見学ツアー」講座 ・企画展「羅臼 森繁久彌の足跡展」 ・羅臼の歴史・文化に興味を持っている町民の受け皿となる郷土史研究会のような団体がなく、歴史・文化に興味を持って継続しにくい。 	B
<p>公民館事業（地域に根ざす事業）</p>		
<p>調査・評価 目標：公民館活動充実のため、各種調査・評価を行い、事業展開の基礎資料とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種教室、講座の減少により講座等の開催時だけ意見を聞くことが難しく、意見も少ない。 	C
<p>（生活文化を高める事業）</p>		
<p>ふるさと体験教室（知床 Kids） 目標：羅臼の自然を楽しみながら学習し、郷土の文化を愛する心を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加しているキッズが楽しみながら羅臼の自然や郷土文化を学習している。 ・年間10プログラムの実施 ・近隣町（斜里町ウトロ愛護少年団）との交流事業展開 ・春松小学校の参加者を増やすための取り組み 	A
<p>こまぐさ学級 目標：趣味活動、教養講座を通じて高齢者が生きがい感をもてる機会を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異世代交流及び社会奉仕活動を取り入れた ・生きがい感、笑うことを目標に活動できた。初めて参加した学級生からとても楽しく休まず参加できたとの声もあった。 ・新規男性の参加者の発掘 ・高齢者に即したプログラムの発掘 	A
<p>公民館相談事業 目標：各種グループ・サークルの自主的な活動を助長し、住民のふれあい活動を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として話すことや物品貸出等の相談が主となっているものの、今年は金額的な相談があり支援することができた。 ・予算が限られているため周知しにくい面がある。 	B
<p>第43回羅臼町総合文化祭 目標：町内の文化活動をしている個人・団体・グループが一堂に会し日頃の活動成果を発表する機会を提供し活動の助長を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人、団体、グループが一堂に会し、日頃の活動成果発表の場となっている。 	A
<p>ふれあいコンサート 目標：町内の園児・児童・生徒等に音楽の発表の機会を提供する。活動の助長を図りあわせて異世代の交流を通じたふれあいの場とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規出演団体が少ないものの、幼稚園児から高齢者までが参加し、異世代の交流を通じたふれあいの場となっている。 	A
<p>児童・生徒美術書道展 目標：町内の児童生徒の美術及び書写活動による作品を一堂に会することにより、一層の情操と創造の心を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出品作品数は児童生徒数と同様に減少傾向だが、作品を一堂に会している。 	A
<p>芸術文化鑑賞事業 目標：多くの人に知られている著名人を講師として招き、現代社会に即応できるような知識・見聞を深める。または、生の優れた音楽を鑑賞させる機会を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ番組で活躍されている「みのや」氏の舞台に触れ、普段鑑賞できない生のステージを鑑賞できた。 ・会場キャパ（客席数9の事情により、高額な費用を要する著名人は呼べない。 	A
<p>ロビー・ホール展示事業 目標：気軽に芸術文化に触れる場とするほか、学習活動の発表の場としても活用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館講座での学習活動の発表やコンテスト等での入賞作品など芸術や文化に触れる場として活用されている。 ・サークルによる作品展を開催することができた。 	A
<p>知床学講座 目標：知床に関わる講座や知床の食材を使った料理教室等を通じて、知床に関する知識の向上を図るための機会を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在計画策定中 	C

(図書館振興 基盤整備)		
資料整備事業 目標： 町民一人ひとりの資料要求にきめ細かく対応し、個人学習を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書購入予算が回復していないため十分な資料収集ができない。 	B
図書事業（読書普及事業）		
1日子ども司書 目標： 図書館の仕事について知ってもらい、適切に利用できるよう援助する。また、本を介し読書の動機付けを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務が定着している。 ・子ども達と司書が交流でき、親しみを持ってもらえている。 ・学校との連携をより図り、読書意欲の啓発、図書館利用教育を行う必要あり。 	A
読み聞かせ事業 目標： 本の紹介や読み聞かせを行い、読書の動機付けを図る。また、司書との交流を図り図書室に親しみをもってもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生の出前事業を増やし回数内容ともに充実している。 ・親子連れの図書室利用が増えている。子どもの図書館バス利用につながっている。 ・ボランティア会員の増員や新たなサークルの結成が必要とされている。 ・子どもの読書活動を定着するためにはPTAの協力が必要。 	A
図書館バス利用ガイダンス 目標： 町内の子どもたちに公共施設を適切に利用する習慣や、社会性を身に付けてもらうため利用指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が定着している。 ・学校・幼稚園との連携もとれている 	A
本との出会い講座・講演会 目標： 親子の絆を深める家庭での読み聞かせを普及するため、絵本について学ぶ機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・出会い講演会：梅田俊作氏講演会 ・出会い講座：パパ's絵本プロジェクト「絵本と遊ぼう」 ・幼稚園保護者の参加者が少ない。 	A
第12回らうす古本市 目標： 限られた資源を有効利用しようとするリサイクル時代に、不要になった本や雑誌を町民に還元することにより再活用してもらい、地域の環境に気付き、この活動を通して図書活動への関心をもってもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・12回実施中（うち体育館で6回実施）事業が定着している。 ・通年で本の収集を行った。 ・収集本の魅力を維持することが課題。; ・実行委員も定着している。（ボランティア団体の協力） ・ぶっくぶっくコメント交換会が定着していない。 	A
図書室出前事業 目標： 町民の要望や学校での読書案内の要望にきめ細かく対応し、図書活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・こまぐさ学級は、公民館と連動した事業で好評 ・学級生がやりがいを感じて取り組んでいる様子が伝わる。 ・小学校6年生の授業は、初めてだったが、職業教育の一環として依頼を受けた。高学年に対する図書館PRとなった。 	B
ブックスタート事業 目標： 絵本を仲立ちに赤ちゃんと保護者が温かく楽しい時間を過ごし、一層絆を深めてもらうきっかけづくりのため、母親学級で手作り絵本を作成したり、乳幼児相談でブックスタート事業を行い、地域の連携によって子どもを育て支援する体制を作る。	<ul style="list-style-type: none"> 【保健福祉課連携事業として定着】 ・ぷれママスクール（母親学級） ・乳幼児相談 ・フォローアップ事業「ちいさなおはなし会」 	A
道立図書館出前講座 目標： 道立図書館の市町村活動支援を受けることにより、低迷している貸し出し状況を回復し、図書活動の活性化を図り、子どもの読書活動を推進するための取り組みにはずみをつけることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自館にない資料を展示することにより貸し出し増につながった。 ・支援資料の提供と知識欲を満たすための子ども読書活動の推進を図っていく。 	B

<p>子どもの読書推進ネットワーク会議 目標：地域全体を包括的に子どもの読書活動に関する価値観を共有し、子どもが読書に親しみながら成長するよう環境整備を図るため、ネットワーク会議を設置し機能させる。</p>	<p>【福祉課との連携会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援ネットワーク会議での資料提供及び情報収集 (ありんこ、こぐまちゃんサークル、ぐりとぐらのえほんぼけっと) 	C
<p>図書館バス巡回事業 目標：市街地から遠い場所に住む町民へ図書館サービスを提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一般利用者はほぼ定着しており、子育て支援の視点からはじめているブックスタート事業の参加者が移動図書館バスの利用へ繋がっている。 図書館バスの老朽化と巡回バスの今後。 	B
(諸会議・調査)		
<p>諸会議 目標：社会体育振興の視点から当町の体育・スポーツ並びに健康・体力づくりの振興方策を探り、地域に根ざした社会体育の推進に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進委員会議の開催、管内、全道研修会への参加は、委員・職員ともほぼ充実している。 	B
<p>調査 目標：各種調査により社会体育事業を効果的に実施する方策を探る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 必用に応じ、らいず主催事業やクナシリ駅伝でアンケート調査を実施している。アンケート結果はスポーツ担当と共有し、今後の事業計画やスポーツニーズの把握に役立てている。また、体育館利用者との日常的な会話から発信されるスポーツニーズや利用者の意見要望を、可能な部分について反映している。 	B
(機会提供事業)		
<p>小学校陸上運動大会 目標：各種の陸上競技を適切に行わせることにより、心身の健全な発達を促し、相互の友愛を深め、公平な態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> “走る・跳ぶ・投げる”等、体を動かす基本動作を、陸上競技ルールに基づいた実施から機会提供が図られている。また、日頃の練習を含めて陸上協議に対する理解が深められている。 今年度、悪天候のためグラウンドコンディション悪化で中止 	A
<p>各種関連事業 目標：練習成果発表の場及び町民相互の交流機会の提供を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 機会提供として各事業、対象者にアプローチしている。 	A
(健康づくり相談事業(地域づくり推進事業))		
<p>スポーツ相談事業/各種スポーツ教室 目標：各地域におけるスポーツ・レクリエーション活動を活発化させるとともに、自主活動の促進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> らいず職員・運営委員が直接指導で対応しているが、多様化する志向と幅広い年齢層にあったニーズに安定的に対応するためには、研修会参加等学びの機会が必要である。 町内講師の発掘、リスト(内部資料)の整理 	A
<p>学校体育施設開放事業 目標：地域住民の居住地域である学校体育施設を開放することにより、スポーツ・レクリエーション活動の促進を図り、健康・体力づくりの意識づけを図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自主管理運営方式の各小学校の状況は、羅小・春小ともに時期にこそよるが開放日余裕があり、利用希望があった場合も対応できる。指導員配置方式の羅中、春中ともに老朽化が著しいが、各小学校に空きが無い状態になった場合、学校授業や管理体制に支障がない範囲で開放できる体制が整っている。 	A
<p>子どもの体力向上事業 目標：運動習慣及び望ましい生活習慣・食生活の育成を図るため、児童生徒の体力・運動能力の向上を推進する。</p>	<p>【羅臼SCらいず体育振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> コーディネーショントレーニングの取り組み ブロンズライセンスセミナーへの参加 らいずキッズクラブとことこ開催 	A
<p>指導者(リーダー)養成事業 目標：地域リーダーやスポーツ活動をけん引する指導者の発掘・養成を推進する。</p>	<p>【羅臼SCらいず体育振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種指導者研修会やニュースポーツ講習会、リーダー研修会の参加奨励 近隣市町が開催する講演・研修会の情報収集 	B

(施設整備事業)		
体育施設の整備・充実 目標： 各スポーツ施設の整備及び効果的な開放の促進を図る。	【羅臼SCらいず体育振興事業】 ・羅臼町民体育館指定管理者（H25-27） ・スポーツ備品・体育館備品の有効活用（キッズスペース他） ・玄関落水防止柵の設置 ・冬期間におけるスポーツ活動の場が少ない。 ・体育館内の施設等の劣化	A
社会教育団体等の支援 目標： 団体をリードする指導者の発掘、養成を推進し、自主自立を目指した継続的な支援、育成を図る。	・クナシリ眺望駅伝29チーム参加 ・スポーツ少年団支援 ・羅臼スポーツクラブらいず」への、指導・助言	A
(その他)		
各種補助事業 目標： 各種スポーツ団体が、より活発な自主活動を展開するための経費を補助する。	・社会活動や運営に対し例年補助されており、有効に活用されている。	A

第4章 外部評価委員の意見

※第2回外部評価委員会（平成27年9月7日開催）における各委員からの意見

- 家庭教育について、お母さん方をどう動かすかということが、以前から課題としてあった。当外部評価委員会始まってからも、なかなか動いてくれないという状況が続いていたが、少しずつじっくり構えていこうということで取り組んできた結果、動き始めてきているということであり嬉しく感じた。社会教育単独で取り組むのも難しいことで、「ありんこ」や「ブックスタート」との連携の中でネットワークを作って広がって位置付けられていくことが大事。
- 特別支援教諭2種免許取得について、道教委の目標設定は70%。まだこれに達していないので現在、道教大釧路校で夏に取得講座実施。70%に達したら道教委としてはやめると思われる。そうすると札幌まで行かなければ免許取得できなくなり、教員の費用負担高くなる。その辺の情報も得て、できるだけ身近で取得できるうちに免許取得を勧めた方が良い。
- 本別町の事例紹介。「複式校母の会」というのがあって、その研修会。午前は講演、午後から自分の子育ての話をお母さん自らがし、10くらいのグループに分かれて分科会も行われた。この中から次を担えるリーダーが育って行くのだろうと思う。このような中で親が育っているのを目の当たりにした。親自身が学べる場やPTAで「子育て講座」のようなものを開いていくなど工夫して家庭教育学級をつないでいくことも有効。
- PTAが主催した子育て講座など、幼稚園あたりで予備軍として育てていくと、小学校・中学校になって主体（中心）になってやってくれる。突然「やって。」と言ってもなかなかできないと思うので、丁寧に数年かけて育てていくということも・・・。
- 実際にやれるかどうかは別としても、例えば“特別支援学級に在籍している親たちで集まって懇談しませんか”とか・・・、一般的に講演会しましょうといっても集まらないと思う。
- 中標津高等養護学校の研究授業を見に行ったら、羅臼の子が3人・4人いた。今日、羅臼中学校に行かせていただいたら、ちょっと心配のあるお子さんが羅臼高校にするか中標津高等養護学校にするか悩んでいるとの話があった。それであれば「中標津高等養護はこんなことやっているよ」ということを先輩の話という形で、中学校に呼んで話を聞いたら…といった。そういうことでイメージすると、キャリア教育がつながってくる可能性が高くなる。
- 病院がなくなって、（診療所の状況について）それ以前と比べて使われる率（来院者）は増えているか？そのことが健康づくりにつながると思われる。来院者の傾向がどうなっているのかということから予防医学につながる健康づくりなど、発想としてつながる。
また、病院の傾向（受診者の内容や通院者の状況）から羅臼町の課題が見えてくる。データに基づいた取組みが見えてくる。

- 生涯学習が叫ばれるようになってから、行政各部署において町民の意識改革や必要課題に関する学習機会などの提供が行われるようになってきており、それぞれの専門性の中で住民対象に各種事業等が行われるようになってきている。そのような流れの中、社会教育スタッフが減少する状況もあって、ポイントを絞った社会教育の取り組みとして、近年、次代につなぐ人材やリーダー育成に重点を置いた取り組みを進めてきており、成果も出てきている。
- それでいいと思う。社会教育とは「大人の学び」ということ。
- 先般、春松の同窓会あり、話題に上がったのは、当時の子ども達と今の子ども達の体力はどうなっているのか？ということであった。自分たちの子ども時代、毎日歩いて学校に通った。冬場、雪が降ってもスキーで登校した。それがすごく楽しかった。当時、羅臼岳登山も、春松に朝4時に集まってそれから歩いて登山口まで行き、さらに羅臼岳に登った。また、冬になると風呂敷に弁当を包んで、裏山に登って、残雪期のツアーもした。そういうことからすると、今の子どもたちは歩くこと自体してないのではないか、当時の子どもたちは栄養状態も悪く昼ご飯を持ってこない者もいたが、それでもそのようなことをやっていた。今の子どもたちは授業（学業）の面ではすごく進んでいるが、体育的なことについてもう少し向上する手立ては何かないのかと思う。体力的なこと（劣っていること）が心配。
- オンコ公園は、千年の水場など名勝も多く、冬の間、ここを巡る事業などがあってもよいと思う。スキー授業に代わるものとして生かすことができるのではないか。
- スキーが町技になったのは、歩く道具として使っていたということもあった。グレンデを滑るだけのスキーということではなく、「生活のためのスキー」としての町技の云われもあった。運動公園一帯が年間5か月は遊べるので、町の活性化も含めて子どもたちの体力向上に利用できればと思っている。
- 羅臼は、崖を登らなくてもすぐ裏山に取りつくことができる。日帰りで行って来れるルートも多々あり、町民のみならず道東一円から集まってきており、興味ある人は多い。社会体育とつながるのかどうかはわからないが、そのようなフィールドの良いところに我々は住んでいることを利用して体力向上を図るのも一つの案かと思う。
- ライフスタイルをどう分析するか。子育てしている親の感覚と子どもたちのライフスタイルがズレている。ズレているのだけれども親達はそれに気づかない。現実には親たちは歩いて（学校に）通ってたであろうし、お迎えも来なかつたであろうけれど、今の子どもたちは、雨が降ったとたんに車が何十台も並ぶという実態で、ほとんど歩かない。保健室の先生との話の中で、修学旅行で雨が降ってきた。傘を持って来るようにと言っていたのに持ってきたのは半分。言い方を変えると、傘を持っていない。どうしてかという、親が送り迎えしてくれるから傘は必要ない。最終的には、傘のさし方も分からない。このように、子どものライフスタイルがものすごく変化していることに、もう少し我々も敏感でなければ、子どもたちに手立てすることが見えてこないのかもしれない。

フッ化物洗口についても、羅臼の子ども達がどれだけ虫歯が多いかという実態があって実施しているのであって、フッ素が良いからやっているのではない。子どもたちの実態から、そういうもの（取り組み）が生まれてくることを現場の先生方に理解いただいて取り組んでもらうこと（十分なオリエンテーション）が重要。羅臼という特殊事情・風土を考えること（羅臼町の課題分析）も必要。

- 体育系の部活に入らなければ、体育の授業以外に体を動かす場面がないとすれば、かなり危機的な状況である。
- 授業を行っている側の立場からすると、教室での授業に比べ（屋外の活動は）はるかにリスク多い。蜂に刺された、足をくじいた、脱水症になったなど、思いがけない事故等があり、そのたびに大騒ぎになり教頭に頭を下げている状況である。（このような活動）が必要だという共通理解を保護者も含め社会全体が強く持つことが必要。
- 先生は転勤族であるので、羅臼の裏山も知らないしどうなっているかもわからない。なおかつ先生方も比較的若く先生自身がそのような経験を積んできていない。とすれば、教育委員会や社会教育と学校がどうやってドッキングしていくか可能性を探る中でやっていかないと難しい。学校現場としては、時間数の確保で大変。学校に期待しても無理がある。教育委員会（社会教育）と学校が共同でなければ、そういう機会を提供していくのは難しい。
特に、冬場の運動量が低下することに対して、どう解決する場をつくるかということは重要な課題。温水プールがある町と無い町では全然違う。